

学校だより アンケート特集号

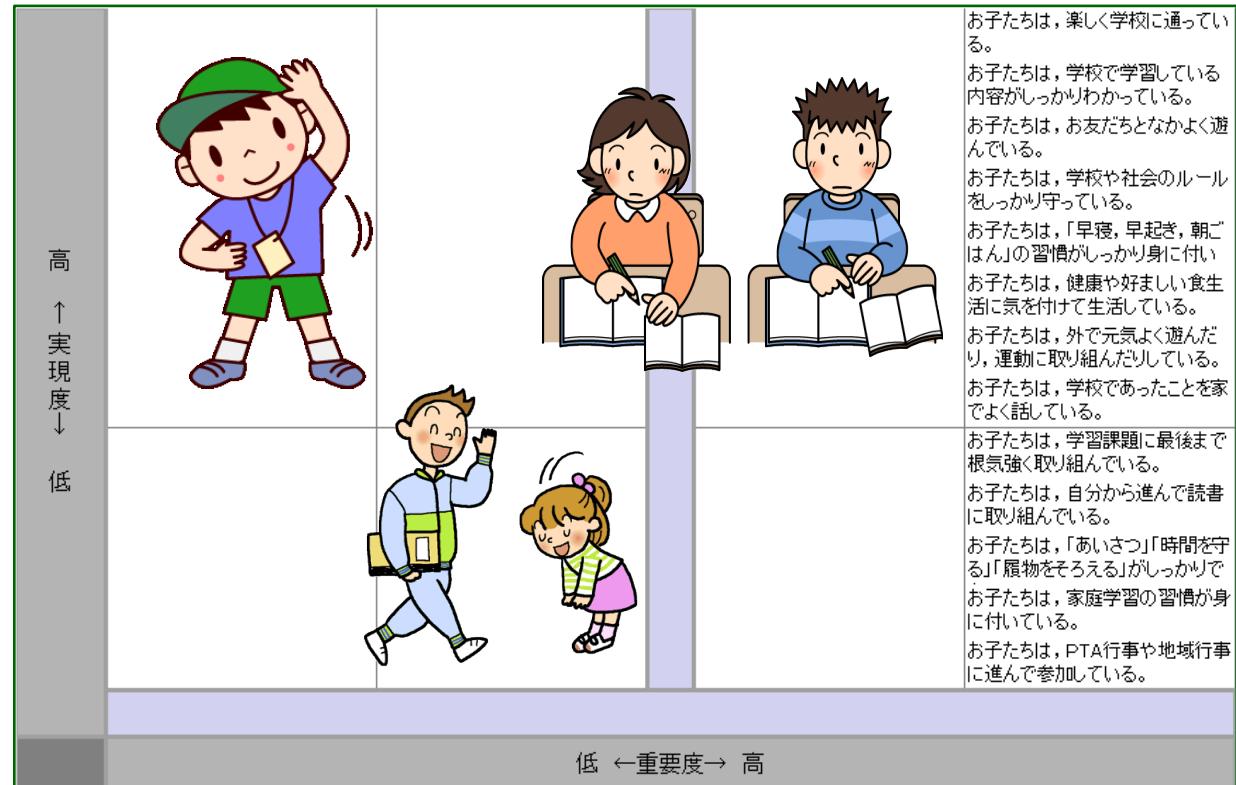
令和元年9月
京都市立桂東小学校
校長 志村 光司

7月に実施いたしました学校評価アンケートの集計結果が出ましたので、お知らせいたします。

児童に対するアンケートは発達段階を考え、実現度のみを回答していますが、今回も保護者の皆様には、重要度と実現度の2つについて段階をつけてお答えいただいている。

これは『大切であるのに、現実には出来ていないこと』を浮かび上がらせ、改善の指針とさせていただきたいと存じます。

<分布図>



大切なに出来ていないこと

上記の分布図では、保護者の皆様が重要であると考えていることと保護者の皆様からお子たちをご覧になってお子たちが実現できているのかを表しています。

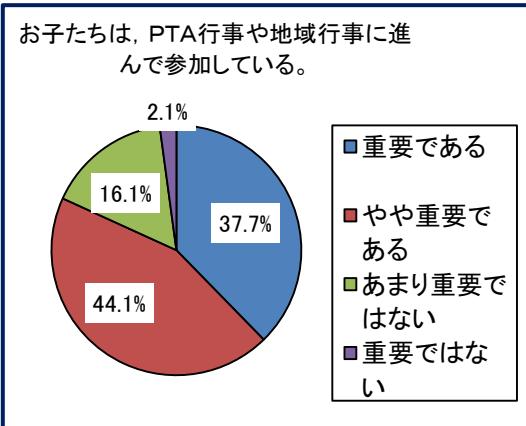
保護者の皆様はどの項目も大事であると考えておられることがよくわかります。その中でも「お子たちはのしく学校に通っている。」「お子たちは、学校で学習している内容がしっかりとわかっている。」

「お子たちは、お友だちとなかよく遊んでいる。」の3項目が「実現度」の上位を占めていることをわたくしたち教職員にとってはもっとも嬉しい結果となっております。

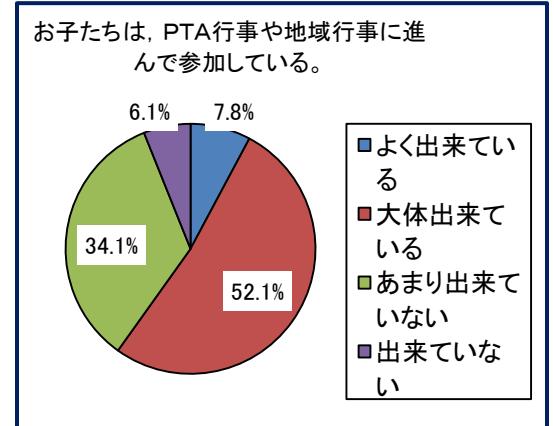
しかし、児童の実現度では、この3項目とも高学年に進むにつれて、実現度が低くなっています。

どの学年にも否定的な回答をしている児童はいます。この3項目は個人差のある問題でもあります。常に子どもたちが相談しやすい雰囲気づくり努め、子どもたちの変化を見逃さないように取り組んでいきたいと思います。

【重要度】



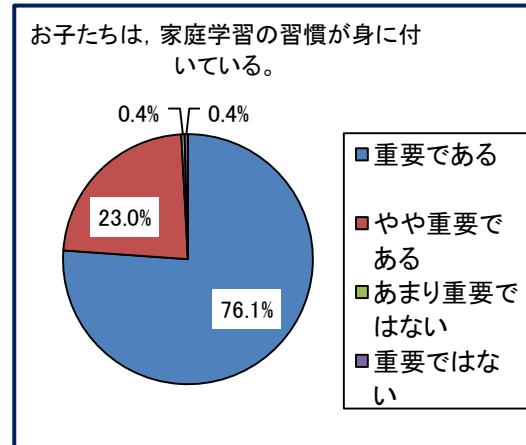
【実現度】



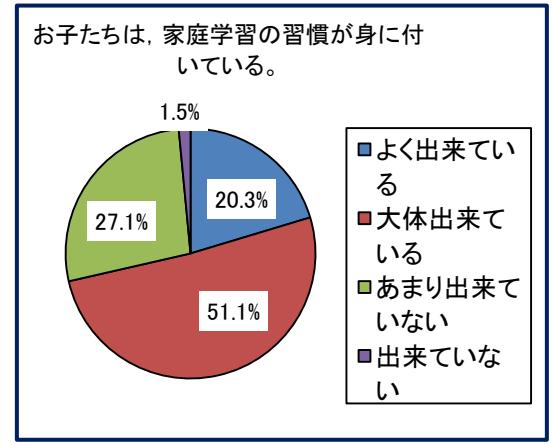
保護者アンケートの「お子たちは、PTA行事や地域行事に進んで参加している。」が、「重要度」と「実現度」の間でもっとも格差があった項目です。

PTA行事、地域行事に参加することによって、自分たちは、地域の皆様やPTAの皆様の支えで育てられていることを実感すると思います。PTA行事、地域行事等の年間計画をご覧いただき、見通しをもって、子どもたちが1回でも2回でも参加できるようにご協力いただきますよう、よろしくお願ひいたします。

【重要度】



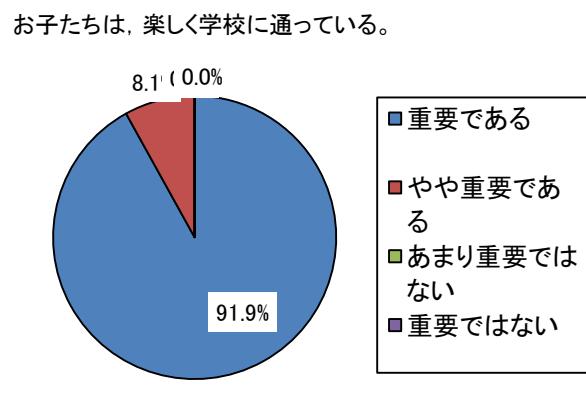
【実現度】



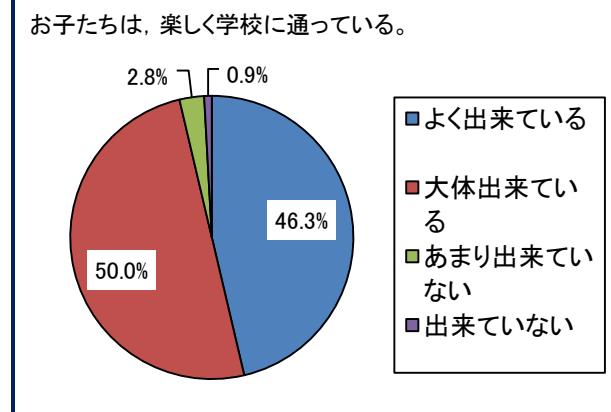
新教育課程では、「主体的・対話的で深い学び」が強調されています。これをどのようにとらえるか、いろいろな考えがあると思いますが、「主体的」と「家庭学習」はつながっていると思います。学年によっては自主学習ノートで家庭学習を積み上げています。小さな成功体験を積み重ねながら達成感を味わっていくことで、主体的な学習への意欲を高めていくことにつなげていければと考えています。

よく出来ていること

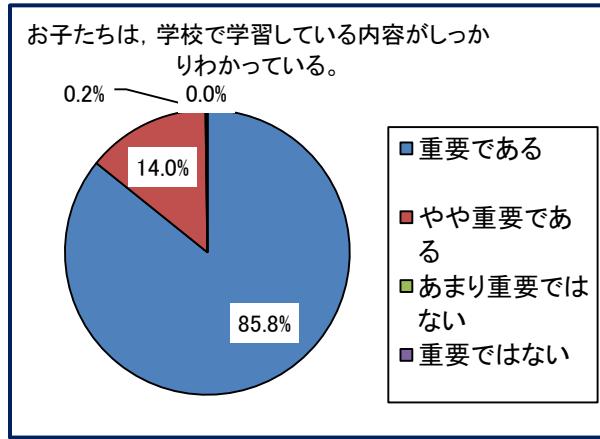
【重要度】



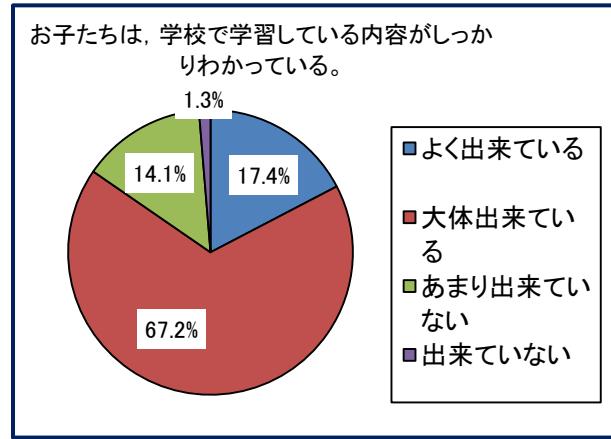
【実現度】



【重要度】



【実現度】



児童アンケートでも“とても楽しい”“まあまあ楽しい”を合せると、低学年 94.9%，中学年 90.6% 高学年 87.8% となっており、いずれも 90% ぐらいを推移しております。高学年も高い数字となっており、嬉しく思っています。「学習の理解」や「友だち関係」とも深く関わってくる項目ですが、保護者の皆様からみても高い推移を示していることを嬉しく思っております。しかし、児童アンケートでも“あまり楽しくない”“楽しくない”を合わせた否定的な回答も高学年は 12.3% となっております。高学年になると行事をはじめ、学習や部活動…などに、自分のめあてをもち、モチベーションを高めて、主体的に取り組めるようになり、それなりに有意義な学校生活が送れるようになってくる一方で、めあてのもちにくい子どもにとっては、主体的に取り組むことが難しく、モチベーションの持続も難しくなってきます。子どもたちが“自分が打ち込める”何かを見つけられるような支援のあり方を探っていきたいと思っています。

児童アンケート「学習はよくわかります。」「よくわかります」「大体わかります」の肯定的な回答はどの学年も 90% を推移しております。今までからも「わからない子ども」の克服を目指し、普通授業の中で個の課題に対応する学習となるよう工夫して取り組んできましたが、今後も時間の許す限り、個の課題に対応する放課後の個別指導にもしっかり取り組んでいきたいと思います。

自由記述欄に関しましては、

保護者の皆様の記述の中から関連するものを抜粋しました。

- 意見が挙がった事についてアンケート結果では公表されていますが、その後の対応や改善された点について報告がないので、アンケートでの意見を書く意味はあるのでしょうか。
- 幼稚園の頃とちがい、日中の子どもの様子が伝わりにくくなっていると感じます。学年が上がるにつれて、さらに、そう感じることが増えてくると思うので、親子の会話を大事に話しやすい環境を作ることを大事にしたいと思っています。
- 親が横についているときしっかり学習出来ますが、自主的にが、まだまだです。勉強も少しずつ出来るようになってきたと思います。
- 学校や学童での言葉遣いの悪さが目立ちます。楽しいのは良い事ですが、もう少し注意してもらえたらと思います。
- クラスの人数が多いせいか、落ち着いて授業を受ける、しっかり話を聞くことが難しい場面が増えたように感じています。日々の理解の積み重ねが次学期、次学年へと続き、小さなつなづきが後々大きなつなづきにつながると思いますので、大人数の目の届き方が非常に気にかかります。
- 子どもの友達関係のことで悩み、担任の先生へ伝えた所、すぐに関係のある子たちから事情を聴き、その後の対応も子どもの心に響くものであり、我が子は以前より担任の先生の事を信頼しています。勉強だけではなく“豊かな心”を大切にして下さっている教育に親として感謝しかありません。本当にいつもありがとうございます。
- 子どもの安全についての不安を増大させるようなニュースの多い中、見守り隊の方々はじめ、地域の方々の目で見守っていただいていることに感謝します。
- 友だちと学習することを楽しいと思っているようです。小学校の学習では楽しいことにいっぱい会えるといいなと思います。
- 学校帰りの子どもたちをよく見かけるのですが、みんなニコニコしていて、今日も学校が楽しかったんだなと思って見ております。子どもにとっての1日1日はとっても大切な時間です。その1日を大切に笑顔で過ごせているのも先生方のおかげです。いつもありがとうございます。今後ももっと笑顔の連鎖ができますように…！！
- PTA 行事に関しては、共働き世帯が一般的になっている現状と合っているといふ難い活動も多くみられ、今後は、子育て、(親の)仕事、学校生活と両立できる取組みとして見直す時期でないかと思う。
※PTA 活動は重要であると考えています。

アンケートにご協力いただきありがとうございました。様々な課題や今後も伸ばしていきたい桂東の魅力などを知るうえで、大きな指針となりました。また、アンケートの裏面の自由記入欄に記入いただいた事項に関しましては、教職員及び学校運営協議会理事の方とも協議して、今後の学校運営に反映させていきたいと思っております。改善された点については、保護者の皆様におわかりいただけるよう、工夫していきたいと思います。